

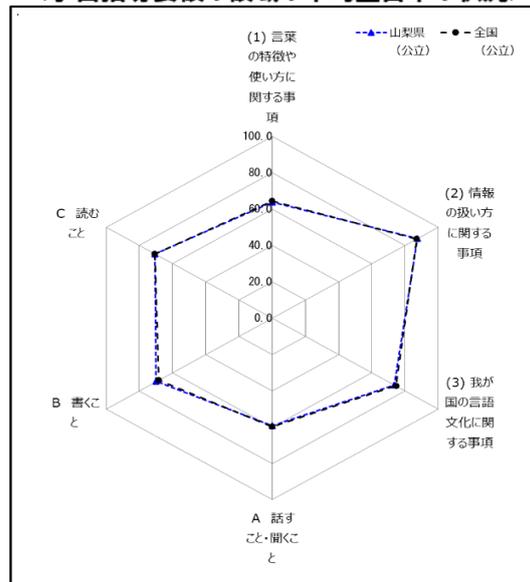
全国学力・学習状況調査 小学校 第6学年 国語

集計結果

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
山梨県 (公立)	5,641	9.5 / 14	68	10.0	3.0
全国 (公立)	947,364	9.5 / 14	67.7	10.0	3.1

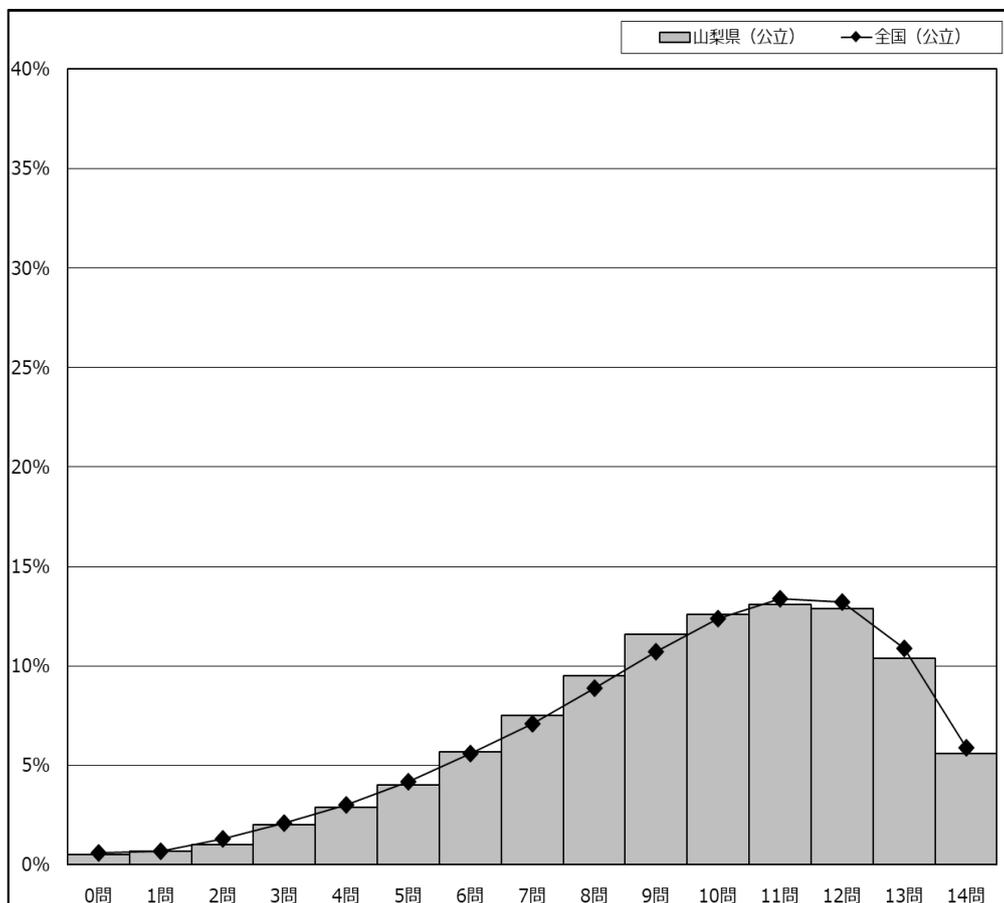
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			山梨県 (公立)	全国 (公立)
全体		14	68	67.7
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	63.8	64.4
		(2) 情報の扱いに関する事項	87.5	86.9
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	73.6	74.6
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	59.3	59.8
		B 書くこと	69.9	68.4
		C 読むこと	70.5	70.7
評価の観点	知識・技能	6	69.4	69.8
	思考・判断・表現	8	66.2	66.0
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	10	69.4	69.9
	短答式	2	60.6	59.7
	記述式	2	65.2	64.6

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



正答数集計値・分布グラフ

正答数集計値			
正答数	児童数	割合(%)	
	山梨県 (公立)	山梨県 (公立)	全国 (公立)
14問	315	5.6	5.9
13問	585	10.4	10.9
12問	728	12.9	13.2
11問	740	13.1	13.4
10問	712	12.6	12.4
9問	656	11.6	10.7
8問	536	9.5	8.9
7問	421	7.5	7.1
6問	320	5.7	5.6
5問	226	4.0	4.2
4問	165	2.9	3.0
3問	115	2.0	2.1
2問	56	1.0	1.3
1問	37	0.7	0.7
0問	29	0.5	0.6



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等												
		(1)	(2)	(3)	A	B	C	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	山梨県(公立)	全国(公立)	山梨県(公立)	全国(公立)
1一	学校の取り組みを紹介する内容を【和田さんのメモ】にどのように整理したのかについて説明したものと、適切なものを選択する				5・6 ア			○		○			61.7	62.5	0.7	0.7	
1二(1)	オンラインで交流する場面において、和田さんが話し方を変えた理由として適切なものを選択する	5・6 イ					○		○				74.6	75.9	0.5	0.6	
1二(2)	オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する				5・6 ウ		○		○				52.5	52.9	0.7	0.7	
1三	オンラインで交流する場面において、【和田さんのメモ】がどのように役に立ったのかを説明したものと、適切なものを選択する				5・6 ア		○		○				63.7	63.8	1.0	0.9	
2一(1)	高山さんが文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明したものと、適切なものを選択する				5・6 ア		○		○				81.6	80.3	0.9	0.9	
2一(2)	【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものと、適切なものを選択する		5・6 イ				○		○				87.5	86.9	0.8	0.9	
2二	【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く				5・6 ウ		○		○		○		58.3	56.6	3.7	4.9	
2三ア	【高山さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(きょうぎ)	5・6 エ					○			○			46.6	43.4	11.4	13.2	
2三イ	【高山さんの文章】の下線部イを、漢字を使って書き直す(なげる)	5・6 エ					○			○			74.6	76.0	7.4	8.0	
3一	【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する			3・4 カ			○		○				59.4	62.3	2.0	2.0	
3二(1)	「オニグモじいさん」が「八工の女の子」にどのように話さか迷っていると考えられるところとして、適切なものを選択する				5・6 イ		○		○				66.1	66.9	2.9	2.6	
3二(2)	【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したものと、適切なものを選択する				5・6 エ		○		○				73.3	72.5	3.2	2.9	
3三	【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く				5・6 エ		○			○			72.2	72.6	12.0	12.6	
3四	【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する			5・6 オ			○		○				73.6	74.6	9.3	7.6	

物語などを読み、複数の叙述を 結び付けて考えることができる児童

こんな姿を
目指したい



正答例 3 三

オニグモじいさんが、「食っているのはな」と言っ
てやめたところや、「食って生きているのはな、朝日
のひかりだよ」と言ったところが心に残りました。女
の子をこわがらせないようにする考え方に感動した
からです。（99字）

特徴的な誤答

ハエの女の子が、「じゃ、おじいちゃん、ひかり
をたくさん食べて、元気でくらしてね。さようなら
」と言って、はらっぱのむこうへとんでいった
ことが心に残りました。（77字）

誤答から見えるつまずき

物語を読んで、心に残ったところを、物語から言葉や文を取り上げて書いている。
しかし、心に残った理由を書いていない。
→心に残ったところとその理由を、物語から言葉や文を取り上げてまとめることが必要となる。



高学年の学習で...

日々の学習における改善・充実

〔第5学年及び第6学年〕
C読むこと（1）エ

〈言語活動例〉物語を読み、心に残ったことを伝え合おう
～人物像や物語の全体像を想像したり、表現の効果を考えたりする～

言語活動例のように、心に残ったことを伝え合うと
いう目的をもって読むことができるように、単元の
導入を工夫しましょう。

心に残った理由が明確になることを児童が実感でき
るように、交流場面を設定しましょう。

【工夫例1】これまでの学習活動を想起させる



これまでの物語の学習で、楽しかったことや
学んだことはどんなことですか。

「ごんぎつね」で、ごんと兵十の会話や情景に
着目して読んだら、気持ちの変化がよく分かり
ました。



【工夫例2】教師がモデルを示す



私が〇〇という物語を読んで心に残っている
ことは□□です。それは、・・・。

心に響いたところとその理由を明確にするために…

- 心に響く叙述を見つける ・登場人物の行動、会話、心情、相互関係 ・場面についての描写など
- 複数の叙述や場面の移り変わりを結び付ける
- 自分の知識や経験、読書体験などと結びつけるなど

【特徴的な誤答】を例に

ハエの女の子が、「じゃ、おじいちゃん、ひかりを
たくさん食べて、元気でくらしてね。さようなら」
と言って、はらっぱのむこうへとんでいったとこ
ろが心に残ったから伝えたいんだけど…



なぜ、そこが心に残ったの。

オニグモじいさんのやさしさに気づかないハエ
の女の子がかわいいと思ったんだ。



物語のオニグモじいさんとハエの女の子の会話に
着目してみると、ハエの女の子の性格がもっとは
っきりするかもしれないね。



「ほんとうに、ひかりをつかまえた！」とハエ
の女の子が言ったところも素直でかわいいな。
もう一度読んで確かめてみるね。



目的をもって読むことができるような単元の導入を工夫しよう！

交流を通して考えを明確にする場面を設定しよう！

ここが
POINT



課題のある設問 大問2二 B書くことウ 反応率の高い誤答に着目する

具体的な設問例 「たてわり遊び」に関する高山さんの文章の空欄に、次の条件に合わせた文章を書く。

- 条件① 「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書くこと。
- 条件② 下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書くこと。
- 条件③ 60字以上、100字以内で書いている。

解答類型	反応率 (%)	正答
1 条件①、②、③を満たしているもの	58.3	◎
2 条件①、②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	0.8	
3 条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	0.8	
4 条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	32.4	
99 上記以外の解答	4.0	
0 無回答	3.7	

正答例
[正答率] 山梨県58.3 全国56.7

「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という1年生や、「みんなが楽しそうであれよかった」という4年生がいます。このように、「たてわり遊び」のよいところは、学年をこえた交流ができることだと思います。

誤答例
たてわり遊びをしている下級生の1年生は「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」や、3年生は「好きな遊びや新しい友達が増えた」と答えてくれました。このように、みんながたてわり遊びをしました。

「たてわり遊び」のよさについて、考えたことを書いていない解答類型4の反応率が32.4%と高い。



誤答から児童の実態を把握しましょう！

このように解答した児童の中には、事実と感想、意見とを明確に区別せずに、事実を自分の考えのように書いてしまい、条件①を満たせなかった児童がいたと考えられます。

授業をつくる 大問2二

児童の実態を踏まえた授業づくりをする

書くことB ウ 「考えの形成、記述」

◆ 児童は、取材メモに整理したことを基に、それぞれが考えた学校のよさを伝える文章を書いています。

「事実」は書けているが、「考え」を書くことにつまずいている児童への指導

一人一人の実態に応じた指導



佐藤さん

「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という1年生や、「みんなが楽しそうであれよかった」という4年生がいます。このように、「たてわり遊び」のよいところは、学年をこえた交流ができることだと思います。

取材メモの下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて、「たてわり遊び」のよいところを書いているな。

手立て

佐藤さんの考えを、事実や考えを書くことにつまずいている児童の指導に生かしたいな。

山梨県正答率58.3

約半数の児童は「事実」を基に「考え」を書いています。このような児童を協働的な学びの中で生かしていきましょう。



鈴木さん

その結果、「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という1年生や、「好きな遊びや新しい友達が増えた」という3年生、「みんなが楽しそうであれよかった」という4年生がいました。

取材メモから言葉や文を取り上げて書いているけれど、「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書いていないな。

手立て

下級生の感想を取り上げた目的を確かめて、「たてわり遊び」のよさを考えさせよう。



高橋さん

たてわり遊びをしている1年生は「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」や、3年生「好きな遊びや新しい友達が増えた」と答えてくれました。みんなたてわり遊びを楽しんでいました。

下級生の感想から、活動を楽しめていることを書くことができていないな。でも、取材メモの言葉や文を「たてわり遊び」のよさと混同し、自分の考えとして書いていないな。

手立て

みんなが活動を楽しめていることを、「たてわり遊び」のよさとして、事実と区別して書くためには、どのように工夫したらよいか気付かせたいな。



それぞれのつまずきはどこにあるかな？

児童の実態を踏まえた授業づくりをする

◆ 児童は、取材メモに整理したことを基に、それぞれが考えた学校のよさを伝える文章を書いています。

「事実」は書けているが、「考え」を書くことにつまずいている児童への指導

協働・自己調整する学習



互いの文章を読み合っ、書き表し方を見直してみましょう。「学校のよさ」を伝えるために、自分の考える「学校のよさ」が書かれているか、下級生に聞いたことが「事実」として取り上げられているか、確かめてみましょう。

鈴木さん



修正(自己調整)

佐藤さんのように、「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書くといいな。メモに書いた「伝えたいこと」をもう一度確かめよう。

佐藤さん

協働

「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という1年生や、「みんなが楽しそうであれしかった」という4年生がいます。このように、「たてわり遊び」のよいところは、学年をこえた交流ができる場所だと思います。

高橋さん



修正(自己調整)

どこが私の考えか分かりづらいな。どうしたらよいだらう。

個別の指導

その結果、「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という1年生や、「好きな遊びや友達が増えた」という3年生がいました。たてわり遊びのよいところは、どの学年も楽しむことができる場所だと思います。

高橋さんは、「事実」と「考え」を区別して書きたいのですね。みんなが楽しんでいたことを「たてわり遊び」のよさとして、文末表現を工夫して書いてみてはどうでしょう。



1年生は「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」、3年生は「好きな遊びや新しい友達が増えた」と言っていました。このように、みんなが活動を楽しむことができるのがたてわり遊びのよいところだと思います。

学習過程で育成を目指す資質・能力に基づいた指導

国語科の学習過程

* 必ずしも一方向、順序性のある流れではない。

イ「構成の検討」

筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。

B書くこと

題材の設定

情報の収集

内容の検討

構成の検討

考えの形成

記述

推敲

共有

みんな仲良く「たてわりはん」

わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じはんで「たてわりはん」をしています。
学校のよさ(書く目的)
「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良くなります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3色対こうで行います。上級生が下級生に応援の仕方を教えたり、下級生も楽しめたり、みんなの仲良く考えたりします。
運動会のよさ
「みんなであつな」や「たてわりはん」のよさは、3年生や、「下級生といっしょに応援して熱い気持ちになる」という5年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになる場所だと思います。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、下級生がボールをくふうしたりしています。
たてわり遊びのよさ

学校のよさが伝わるように、それぞれの段落でどのような内容を書こうと考えますか？



始めに、学校のよさを書いて、次に、「運動会」のよさを書き、最後に、「たてわり遊び」のよさを書くようにしたいな。



鈴木さん

私は、始めに、「運動会」のよさと「たてわり遊び」のよさを書いて、最後に学校のよさを書くようにしましょう。

高橋さん



書く目的を明確にし、それぞれの段落の内容としてどのようなことを書けばよいのかを、児童が考える場面を大切にしましょう